



特別増資 500250 生協子ども基金 500252 にて毎週受け付けています、ご協力の程宜しくお願い致します。

COOP JOSO NEWS LETTER 2018 11-3

2018. 11. 5

facebook やって  
います!



COOP JOSO News Letter

常総生活協同組合

発行 / 生協広報G

【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

## 11月3回 は大進食品特集

今年夏に登場したばかり！商品案内本紙 16 ページ 389 番「マッシュポテトベース」で何つくる？**レシピ大募集！！**



使いやすいジッパー付の袋です

北海道産じゃがいもを皮ごと蒸してから皮をむき、裏ごしし、型抜きをしたシンプルな冷凍商品です。11月3回の商品案内ではオムレツやポテトサラダなどの用途を紹介していますが、「使い道は他にもあるはず！」ということで、組合員さんにお知恵を頂きたく、**レシピを大募集！！**たくさんのアイデアをお待ちしています。頂いたレシピはカタログ本紙で紹介していきます。

-----キリトリ-----

私が考えたマッシュポテトベース de レシピ ♪ ※締切 11/23 (金)

### ■材料

マッシュポテトベースの量：

### ■作り方

組合員番号 【                            】  
お名前 or ニックネーム 【                    】

## ■常総生協の考える冷凍食品

加工度が高くなる冷凍食品には数多くの原料が混ざり合うので注意が必要です。常総生協の冷凍食品は国産原料を主原料として使用することを基本とし、添加物を極力使わず「素材の素性がわかるもの、そして何よりお母さんの手作りに近いもの」を中心に取り揃えています。お弁当や夕食のあと一品用に、冷凍庫に常備しておくとう便利です、あとひと手間加えてアレンジすることを覚えるとあっそう料理が楽しくなると考えています。

今回は同じような想いでこだわりの冷凍商品を扱っている大進食品さんをご紹介します。

## ■大進食品さんに想いを伺いました

### A mom (ママ) 大進食品のこだわり



「ママ」を英語にすると「A mom」(ア・ママ)。A mom (ママ) は文字通り「ママ」。ママの目線で、三つのA (ア) から安心と安全・そして味のこだわりをコンセプトに商品をご提案させて頂こうと株式会社 大進食品が立ち上げたブランドです。ここ数年、いえごく最近でもいろいろな問題が引き起こり、食を取り巻く環境が大変騒がしくなっておりますが、どんな時代でも「ママ」が家族に安心で安全な美味しいものを食べさせたいとの思いは変わらないはずです。

いつの時代でも毎日忙しいお母さん！  
更に、働く「ママ」がますます増えている近年。  
そして「主婦」は、言わば24時間労働です。



### 「冷凍食品」は手抜き？ ではありません！

冷凍の加工品を上手に使って頂き、少しでも「ママ」の時間に余裕が出来たら「ママ」に笑顔が生まれます。そして「ママ」の笑顔が、家族の笑顔につながります。

そんなシーンのお手伝いをさせて頂く事ができたら、との想いで商品開発をさせて頂いております。

ささやかですが、そんな願いを込めて、加工品だからこそ中身のしっかり見える、安心で美味しい商品を A mom (ママ) がお届けさせて頂きたいと思っております。

また、近年ご夫婦お二人のご家庭も増えてきており、沢山お召し上がりにならないのでお料理に無駄がでてしまう、と言ったお声をよく耳に致します。少量で無駄なく、そして安心して美味しく召し上がって頂ける加工食品があったら手軽にお使い頂けるのでは・・・といった思いも開発の大事な要素となっております。

今後、より一層皆さまに安心してご愛顧頂ける商品をご提供出来るよう精進して参りたいと存じます。

～大進食品さんより～

組合員の皆さまには日頃ご愛顧頂きまして有難うございます。

イベント等で呼んで頂き、皆さまにお会いする度に元気のパワーと笑顔頂くことができ感謝で一杯です。

そんな皆さまに育てて頂いてまいりましたブランド「ママ」も、誕生してから約8年を迎えます。出来る限り国産の原料使用、化学調味料・合成添加物は不使用…何より「美味しい」が一番で開発してきました。「美味しい」で笑顔は自然に生まれますよね。でも、気持ちに余裕がないと当然「笑顔」はなかなか生まれません。

忙しい日々の中で、たまには手を抜いて「いい加減に・・・」加工品を上手に使って頂き「いい加減に」して頂きたいのです。その為には「加工品だからこそ中身の見えるちゃんとしたものを」お届けしたいと考えています。

安心して加工品をご利用頂き、時短で生まれた時間でホッと一息ついていただくことでほんの少しでも気持ちにゆとりを感じて頂きたい・・・その余裕が笑顔に繋がると信じています。何と云ってもお母さんの笑顔は家族の最高のごちそうだと思うのです。その為のささやかなお手伝いをさせて頂いただけたら幸せです。



2018年10月  
株式会社 大進食品 宮沢 芙美子

## 組合員・生産者・職員の広場

## ●みかんが腐っていた。

みかんを買ったのですが水曜日に来て、日曜日には4個腐っていました。こんなに早く腐るものなのですか？

(守谷市 A.Oさん)

無茶々園の極早生みかんですが、極早生とは果皮が最も薄い品種で、シーズンを通して腐れや傷みに一番弱い時期です。特に無茶々園では農薬回数を0～3回までに抑えており、また、コーティング剤(ワックス)も使用していないので、慣行栽培よりも傷みやすく、お届けしてから数日で傷みが進行して腐りが出てしまうケースもございます。この度は誠に申し訳ございませんでした。何卒ご理解いただければ幸いです。

(商品部 小宮山)

## ●あべchan.com 10月号・・・

毎回楽しませてもらっていますが今月号は特に……。ヤモリの駆除のくだりが……。私と同様に考えている方がいたと知り嬉しかった。ヤモリ・・・とにかく様々な事件がありました。どうにかしたい・・・退散させたい……。

(守谷市 F.Tさん)

10月号の「あべchan.com」は、なかなか面白い話ですね。私も26年前に東京の下町から引っ越してきて庭付きの家が夢だったので緑多い環境に胸ワクワクでしたが、そのうち普段見たことのない虫やトカゲ、ヤモリもありそれだけで驚嘆！でした。今はもう慣れま

したがこの若いママさんも都会から引っ越してきてバツタも余程見たことがなかったのかももしれないですね！

(守谷市 N.Kさん)

## ●「お料理セット」について

80歳過ぎた義母はとにかくいろいろな事がおっくうになりました。量の加減もわからなくなりつつあります。でも「出来そうな事」はやらせてもらおうとお昼ご飯を作る事をお願いしています。そういう意味ではこういうお料理セットもあって良いのかなと思います。(常総生協という組織の中でも賛否両論あったと思います。組合員、増やしたいですし……)

(牛久市 S.Tさん)

## ●しじみだし醤油(井ゲタ醤油)

とても重宝しています。すまし汁に醤油のかわりに使うとだし汁の味に、とてもうまみがでるし煮物の味付けにも、しじみ出し醤油はかせません。是非、定期的に企画してください。

(つくば市 T.Mさん)

ご要望ありがとうございます。今週配布している11月3回にて掲載しました。290番です。利用が少ない商品なので、定期的に掲載していくのは難しいですが、今後の利用が増えれば定期的なサイクルを組むようにしていきます。現状では3か月に1回くらいのサイクルです。利用結集の方、よろしく願い致します。

(商品部 小菅)

## 2018年11月の予定

## ●生協基幹運営/地域活動・催し●

- ・11月ゴンタの丘「常総っこ応援団」は毎週木曜日活动しています。試食会は11月25日に行います。
- ・11/11(日) 鈴木牧場産地交流会
- ・11/16(金) 歴史を学ぼう-未来のために。松永さん産地見学会
- ・11/17(土) ラード作り講習会
- ・11/24(土) 高柳さんのれんこん産地交流会
- ・11/28(水) 定例理事会

## ●提携・協同・連帯企画●

- ・11/10(土) 二本松有機農業研究会ソーラーシェアリング完成式
- ・11/17(土) ミニマルシェ@サンフル
- ・11/21(水) 茨城県連理理事会
- ・11/25(日) あいコープふくしままつり
- ・12/1(土) GMO 全国フリーゾーン全国集会プレイベント@成田

ご報告とお知らせ

●西日本豪雨災害の無茶々園への支援について

8/7 いのち育む生産者の会（旧名：業者会）役員会で西日本豪雨災害で被害を受けた無茶々園に、義援金を常総生協と生産者の会の連名で贈ることを決議しました。総額 20 万円を 8/22 に送金しました。「JOSO たすけい基金」にご協力してくださった組合員の皆様、ありがとうございました。

12/11（火）午後には愛媛県から無茶々園の代表大津さんが「常総生協に御礼をしに行きたい」と連絡がありました。愛媛からせっかく来るので、組合員の皆さんとの交流の場にしていきたいと思います。別途お知らせを流していきますので、是非お集まりください。

●署名ご協力ありがとうございました！！

NewsLetter10-2 回にてお知らせし、協力を募った 2 つの署名の集計が出ましたのでお知らせします。

- ・「日本原電に・東海第二原発の為に私たちのお金を使わないでください」の署名が **125 筆**。
- ・「放射線のホント」を撤回を求める署名が **673 筆**

2 つの署名にご協力いただき、ありがとうございました。

小さな上映会便り 2018.-4 脱原発・暮らし見直し委員会

NO	題名	感想 ※スペースの関係もあって表現を変えたところもあります
18	東京原発 東京には原発が必要だ！！	2002年にこんな大事な映画が出来ていたなんて・・・「原爆と原発は違う」なんて愚かだったのか・・・小学校の遠足で大熊町へ行き、鉄腕アトムのシールをもらったこと、まだ覚えています。
32	対談「東葛から問う」放射線対策と原発の明日	少し前の対談なので現状とは異なってきたと思うが忘れずに対策したいと思います。
53	未来の食卓	一人でも多くの方に、大人でも子供でも、見てもらいたい。バルジャック村のすばらしい取り組みが世界の取り組みになることを願います。我々にも何か出来るでしょうか？出来るはずです。
55	土の讃歌	農家とシェフとレストランが互恵的に繋がっていること、理想の姿と思います。農業を理解して、味で伝えようとしているシェフ。生産者との信頼関係・・・
56	赤とんぼのいない秋	ネオニコチノイドの恐ろしさを知りました。社会であまり話題にされることがないのが、非常に問題だと思いました。認識を改めるきっかけになりました。
57	ミツバチからのメッセージ	ミツバチがバタバタと倒れていく姿にショックを受けた。一緒に見た母が「ハチミツを食べて大丈夫なのか？」と心配していた。小学校の給食、無農薬にしてほしい。
59	甘くない砂糖の話	砂糖を甘く見て食べ過ぎると大変な事に繋がるという意味のDVDかな。砂糖を多く摂取し続けると、タバコと同じように中毒になるとは思っていなかったのが驚きました。砂糖を取りすぎた人体実験の結果は??
60	いのちの食べ方	事実をそのまま映像にしたものでした。海外のもので、農場や牧場のスケールが日本より大きいのかもしれないと思いました。
		子どもたちにはかなり退屈であったようで、最初の数十分見て眠ってしまった。というのも、音声が無く淡々と映像が流れるからと。でも普通は見られない食べ物の本物の現場を見ることが出来て、良かったと思います。誰でも知っておくべき内容なのではと思いました。
72	誰も知らない基地のこと	ウチナンチューの言葉に圧倒された。米は悪の帝国です。唯唯諾諾従っている日本はどうすべきか?国民は真剣に考えなくてはいけない。
74	命に国境はない	日本ではほとんど放映されていない事実を知ることが出来て衝撃を受けた。子供に見せるには映像があまりに生々しいが・・・
75	ハンナ・アーレント	「思考することは知識を得ることではなく、善悪を区別する能力、美醜を見分ける力を得ること」ハンナ・アーレントの言葉。心に刻みます。この時代も思考することは、人間であること。

※ DVD 貸出リスト保存版を今回 NewsLetter5,6 ページ（中面）にて掲載しています。ぜひ、ご覧ください！！

## 家族で！地域で友人といっしょに！『小さな上映会』しませんか！【脱原発と暮らし見直し委員会】

脱原発と暮らし見直し委員会」では、原発をはじめ暮らしや食について身近で学べたり話し合ったりできるようにと、生協にあるDVDや組合員から寄贈されたDVD、講演会の録画などを組合員の中で共有しようと『小さな上映会』活動が始まりました。観られた感想もニュースでお伝えしています。

【貸出方法】 ①添付の申し込み書を生協へ（注文書の意見欄でもOKです） ②供給便でお届け ③供給便で返却（貸出期間は原則 1 週間から 2 週間です） ※希望が多いものはお待ちいただくことがありますのでご了承ください。

### 小さな上映会 DVD 貸出リスト（表裏） 保存版 2018年11月版

分類	No.	DVD タイトル	制作年	収録時間	制作者・概要・その他
脱 原 発 ・ 被 ば く	1	祝の島(ほうりのしま) 1000年先にいのちはつづく	2010年	105分	1982年島の対岸に原発建設計画が持ち上がった。「海と山さえあれば生きていける。だからわたしの代で海は売れん」。島民の28年に及ぶ反対の歴史。額籙あや監督
	2	福島 六ヶ所 未来への伝言	2012年	105分	12年間六ヶ所村に生活して取材した島田恵監督による六ヶ所核燃料サイクル基地と人々の歴史。六ヶ所みらい映画プロジェクト
	3	内部被ばくを生き抜く	2012年	80分	4人の医師が語る経験・広島・チェルノブイリーイラケー福島 鎌仲ひとみ監督
	4	ミツバチの羽音と地球の回転	2010年	116分	祝島とスウェーデンでエネルギー自立に取り組む人々の物語 鎌仲ひとみ監督
	5	六ヶ所村ラフソフィー	2008年	119分	再処理工場の周辺で暮らす六ヶ所村の人々の葛藤を描く。 鎌仲ひとみ監督
	6	ヒバクシャ HIBAKUSHA 世界の終わりに	2003年	116分	国境のない核汚染イラク・アメリカ・日本の現実。 鎌仲ひとみ監督
	7	チェルノブイリーハート	2003年	61分	放射能の影響で心臓に重度の障害を持った子どもたちのこと
	8	100,000年後の安全	2009年	79分	フィンランド地層処分地の現実 M.モドセン監督
	9	放射性廃棄物 ～終わらない悪夢～	2009年	92分	世界中で漏れ出ている放射能。核燃料サイクルの恐るべき実態。
	10	「フタバから遠く離れて」 避難所から見た原発と日本社会	2012年	96分	故郷から遠く離れた避難所で暮らす福島県双葉町町民の日常。 船橋淳監督
	11	サクリファイス 犠牲者	2003年	25分	チェルノブイリ原発事故処理作業者の知られざる真実
	12	真実はどこに？ WHOとIAEA 放射能汚染を巡って	2004年	51分	チェルノブイリ事故の被害の実態が、いかに隠蔽されたか
	13	「知らされなかった核汚染」 NHK BSIドキュメンタリー	2006年	50分	被ばく60年・マーシャル諸島の現実。岩崎充利撮影編集
	14	脱原発いのちの闘争(2枚組)	2011年	103分 32分	川内原発・玄海原発の再稼働阻止と福島の女性たちの脱原発の行動の記録。 西山正啓監督
	15	みえない雲	1995年	103分	チェルノブイリ事故の翌年ドイツで書かれた小説の映画化。原発事故が引き起こす極限状態を描く。小さな街の混乱と惨事を追う。
	16	チェルノブイリ28年目の子どもたち	2014年	43分	低線量被曝の現場から。Our Planet TV
	17	ナージャの村	1997年	118分	ペラルーシ・ドゥグチ村。原発事故による高汚染地域に住み続ける人々を追ったドキュメンタリー
	18	東京原発 東京には原発が必要だ！！	2002年	110分	質の良い落語を聞いているようで、原発のことがよく解る。主演 役所広司。
	19	放射能内部汚染被曝から子どもを守る ために	2011年	23分	放射能による健康への影響を分かりやすく紹介。免疫力を上げる食べ方・暮らし方を提案。
	20	「原発新基準 世界最高の安全は」	2013年	25分	NHK クローズアップ現代より。
	21	はだしのゲンが見たヒロシマ 「ヒロシマ×ゲン」	2011年	77分	漫画家中沢啓治が自身の生い立ち、広島での被爆体験から『はだしのゲン』を描くまでの半生を語る。石田優子監督
	22	はだしのゲン誕生物語 NHK BSIドキュメンタリー	1995年	60分	はだしのゲン作者中沢啓治インタビュー 岩崎充利撮影編集
	23	「よみがえる科学者 —水戸巖と3.11—」	2016年	60分	物理学者として原発の危険性を訴え続け、山岳遭難で天逝した水戸巖、その運動を引き継ぐ家族のドキュメンタリー。大阪毎日放送制作
	24	2010 わしも死の海におた～証 言・被災漁船50年目の真実	2010年	57分	ビキニ水爆実験による被ばくの証言。南海放送/高知県太平洋核実験被災支援センター
	25	かもめの視線～あの日から2年半の 軌跡～	2013年	119分	いわきの美しい海岸線の風景をパラグライダーで伝えてきた『かもめの視線』。震災後も撮り溜めた映像の数々。
	26	「子どもたちを放射能から守るため に」児玉順一先生講演録	2014年	120分超	小児科医児玉順一先生2014年1月16日常総生協での講演録
	27	「私たちは原発と暮らして幸せです か？」海渡弁護士講演録	2015年	77分	弁護士が制作した『日本と原発』上映会と同時に開催された海渡雄一弁護士による講演の記録。
	28	子どもたちを守りたい～県境を越え てつながる母親たち	2016年	26分	福島原発事故による被ばくの現実に、関東の母親たちが県境を越えてつながる姿を追った記録。Our Planet TV
	29	Friend after 3.11	2014年	135分	岩井俊二監督。福島原発事故について政府も学者もメディアも真実を伝えなかった。小出裕章氏、吉原毅氏(当時城南信用金庫理事長)他多くの人からの聞き取り。未来に向けてどう考えてゆけばよいか。震災半年後の東北の映像もしっかり残されている。
	30	Tohoku Stories (Then & Now)	2012年	17分	東北ドキュメンタリー映画。ジェフリー・ジョウサン&イバン・コバック。東北、福島を忘れないために多くの方に見ていただけるよう。

家族で！地域で友人と！『小さな上映会』しませんか！【脱原発と暮らし見直し委員会】

小さな上映会 DVD 貸出リスト (表裏) 保存版 2018年11月版					
分類	No.	DVD タイトル	制作年	収録時間	制作者・概要・その他
原発・被ばく	31	「原発ゼロでかっちり」吉原教氏講演録	2017年		城南信用金庫前理事長。金融機関の長として脱原発に向けて行動を起こした人物。原発ゼロで日本経済は揺るがないと明言。土浦での講演会の記録。
	32	対談「東葛から問う」放射線対策と原発の明日	2013年	150分	2013年に柏で行われた小出裕章さん(京都大学)と小林泰彦さん(JAEA)の対談。エビデンスがなければ認めない 科学者VS現実の被ばく問題に圧倒されている科学者。会場も騒然。5年前の市民の熱気が懐かしいほど。今なら2人は何を語るだろうか？(2018年記)
	33	太陽の蓋	2016年	130分+41分	3.11福島原発事故の折の混乱振りをドラマに再現したもの。事故に対応するマニュアルもなく、技術無かったことを証明している。幸いなことに最悪の結果は避けられたが。
	34	放射能のホントのこと(学習用DVD)	2017年	上巻22分下巻35分	福島第一原発事故による放射能汚染中学・高校生向けにやさしく解説 上巻は放射能に関する知識、下巻は地元福島での現地の状況を紹介
	42	子どもと貧困 日本の小学生 高校生、フィンランドの高校生		約45分	子どもの貧困が広がる日本。一方フィンランドでは、教育への投資は将来の経済成長につながるとして、世界規模の不況時から、教育費も教材費も医療費も無料とした。民主党政権時のNHKの特集番組のビデオ。画質悪く画面も途切れるが、教育こそが社会の要であることを納得させる番組、一見の価値あり。
	47	放射能はいらない、市川定夫			
	48	終の住処を奪われて		37分	福島原発被害東京訴訟原告団、福島原発被害首都圏弁護団
	49	放射能症候群II	2016年		香取監督。福島原発による健康被害が東葛地域でも出ていることを丹念にレポート。被害者が勇気を持って証言している。
	50	「被曝の森～原発事故5年目の記録～」NHKスペシャル	2016年	60分	福島第一原発事故によって9万人もの住民が強制避難して生まれた広大な無人地帯。5年の歳月で、世界に類を見ない生態系の激変が起きている。人を恐れない...の影響は？世界中の科学者たちの調査等から明らかになる知られざる避難地域の5年目の記録。
	食・農・環境	51	フードインク	2011年	94分
52		モンサントの不自然な食べもの	2012年	108分	遺伝子組み換え食品を巡る食のいのちのドキュメンタリー
53		未来の食卓	2009年	108分	学校と高齢者の給食をオーガニックにする試みに挑戦した南フランスの村のドキュメンタリー
54		自然と共存する農のかたち	2010年	12分	やささで有機農業40年の魚住農園の畑は天敵が共生し農業は必要ない。命のつながりの映像。日本有機農業研究会
55		土の讃歌	2012年	104分	日本有機農業研究会科学部
56		ミツバチからのメッセージ	2010年	57分	ネオニコチノイド農薬とミツバチの生態系、子どもたちの脳。岩崎充利構成撮影
57		赤とんぼがいらない秋	2012年	61分	ネオニコチノイド農薬と小動物たち。岩崎充利演出撮影編集
58		NICOTIN BEES (ニコチンまみれのミツバチ) 日本語字幕版		53分	アメリカ、ヨーロッパ、カナダなどの養蜂家を訪ね、現場からネオニコチノイド系農薬の実体を検証した記録。
59		あまくない砂糖の話	2015年	102分 +15分	日本でもメタボが社会問題となっている。フルーツたっぷりのスムージーやヨーグルトなど健康に良いと思われている食品に大量の砂糖が隠されているとしたら...
60		いのちの食べ方	2005年	92分+ 10分	私たちが毎日食べているお肉や野菜や魚は、そもそもどこで生まれ、どのように育てられ、どうやってパックに詰められてお店に並ぶのだろう？そんな食物を生み出している現場の数々を捉え、絵画のごく美しい映像で世界中を驚嘆させた食のドキュメンタリー。
戦争・基地	71	ひめゆりの塔	1953年	127分	太平洋戦争末期、米軍の総攻撃を受けて沖縄島の南端に散ったひめゆり学徒200余名の記録を映画化。全国劇場公開作品
	72	誰も知らない基地のこと	2012年	74分	世界中の米軍基地で様々な問題が起こっている。なぜ基地はなくなるのか？なぜ基地は増え続けるのか。
	73	戦争のつくり方	2010年	7分	戦争が起こる前の社会現象をアニメで。他のDVDと一緒に借りて観ると有効では。
	74	命に国境はない		115分	高遠菜緒子さんのイラク報告。イラクでボランティア活動をしている彼女が自分で見た現状、仲間から得た映像で、一般のメディアでは知らされていない戦争の現実を伝える。
	75	ハンナ・アーレント	2012年	114分+40分	誰からも敬愛される高名な哲学者から一転、ナチス戦犯アドルフ・アイヒマンの(悪の)平庸さを主張し続けたことで世界中から激しいバッシングを浴びた女性アーレント。歴史にその名を刻み、波乱に満ちた人生を実話に基づいて映画化。
	76	スペシャリスト～自覚なき殺戮者	1999年	123分+1分	アイヒマン裁判そのものを主題にしたドキュメンタリー映画。ハンナ・アーレントの視点を基に編集されている。
	77	アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和	2015年	30分+15分	「江戸の技術」と中村医師が編み出した「中村メソッド」とも呼べる技術によって、戦乱と干ばつの地アフガニスタンで用水路建設をした、中村医師による「干ばつと戦乱」との闘いの記録
	78	孫崎享 講演記録「東アジア情勢を語る」	2018年	約120分	2018/1/28講演会(水海道)の録画。日本で教育に使われている予算は先進国の中で最低の基準であること。国内に多くの米軍基地があり、思いやり予算として基地のために約7000億円の支出をしている(ドインの3倍以上)。基地は日本を守るために有るのではない。軍事力を大きくし、平和が守れることは決して無いと孫崎さんは強調している。
	79	積極的平和国家のつくり方 コスタリカの奇跡	2016年	90分・57分	世界大恐慌後、中米の小国コスタリカでは社会改革が始まり、大統領ホセ・フィゲロアにより1948年軍隊が廃止された。膨大な軍事予算は人々への投資に向けられ、国民皆保険、教育の無償化など人々が支え合う社会民主主義が成立した。冷戦期も、中米の独裁者たちに囲まれても、中立を保ち、国際法に頼ることで国を守ってきた。紛争には交渉であつた平和主義は、教育の力により広く国民に定着している。「この国の子たちは軍隊に入らなくていい」と語る母親始め、国民が「世界一幸せ」と感じている福祉国家の歴史はまもなく70年となる。

キリトリ

【小さな上映会 DVD 貸出希望】 (脱原発と暮らし見直し委員会行き)

年 月 日

お名前 \_\_\_\_\_ 組合員No. \_\_\_\_\_

コース名 \_\_\_\_\_ 班名 \_\_\_\_\_ Tel \_\_\_\_\_

希望DVD No. \_\_\_\_\_ 題名 \_\_\_\_\_

希望DVD No. \_\_\_\_\_ 題名 \_\_\_\_\_